

女子63kg級

準決勝戦第1試合

2 谷本 育実 (指導2) ⊖ 3 貝沼 麻衣子
(コマツ) (淑徳柔道クラブ)

一昨年のチャンピオン、昨年準優勝谷本は、初戦の2回戦に新人小茂田(S・T・O)には払腰一本で勝利したが、続く3回戦の中西(龍谷クラブ)戦は延長旗判定と接戦を制しての準決勝戦進出。対する貝沼はここまで多彩な投技で3試合オール一本勝。

両者右組手の一戦は、大外刈、小内刈を繰り出す貝沼に対し、谷本は技が出ず、開始1分54秒、3分25秒に谷本が指導を受け、そのまま試合終了。

準決勝戦第2試合

4 岩田 千絵 (指導2) ⊖ 2 片桐 夏海
(コマツ) (コマツ)

僚友の対戦。岩田は第37回(平成19年)の57kg級チャンピオン。対する片桐は新人、女子シニア強化選手。

左右のケンカ組手の両者は組手争いから始まる。次第に片桐が奥襟を制して内股で攻撃開始。守勢の岩田は1分36秒指導1を受ける。以降、岩田が反撃に転じるも決め手を欠く。

中盤以降は上背に勝る片桐の上からの圧力に、岩田は前屈姿勢が続き、3分17秒二度目の指導を受ける。岩田の終盤の反撃も及ばず時間。片桐が決勝戦に勝ち上がる。

決勝戦

3 貝沼 麻衣子 ○ 大内刈 2 片桐 夏海
(淑徳柔道クラブ) (コマツ)

両者右組み。開始間際の7秒、片桐は貝沼が押して来るところを回り込みながら、右大内刈を掛けつつ左手で貝沼の太腿を制して押し込み、有効を奪う。その後、両者の組手争いが続く。貝沼が体落、片桐は大外刈を仕掛け合うが決め手を欠く。

中盤、両者の攻防激しく、貝沼が掛けた大外刈を片桐が押し返すところを、貝沼は大内刈に転じ、大きく刈り上げながら、左手で片桐の右太腿を握って持

ち上げながら体を預け、最後は押し付けるように片桐を背中から叩き付ける。
2分16秒、貝沼逆転の見事な一本勝で嬉しい初優勝。